海外新話

一

TALL TREE
LIBRARY
Japanese
Maps
1849
7L

嘉永己酉開鐫

海外新話

全五冊

岩田氏蔵

巨礮震天堅城摧庚船進港
漢軍走風鶴心寒況船礮咽
喉之地棄不守誰招降者林
尚書海疆新令電激如寇
二字失舉措每事都出憤懣
餘鴉片煙消起上匪終見長

鯨掉二其尾一。陣雲慘澹日無レ光。
家家亂レ入レ黑白鬼。十圍松櫟
風凄凄。死骸横二路傍一。怪鴟啼レ邊
將空起望レ洋嘆。封關建議今
噬臍。宸廷泣降和戎詔。北俞
南戚無レ人肖。衮哉百萬講和

金。往買庚申一朝咲。唯我
神州屹海東。四沿清涵蒼波
中。天賜前鑑非無意。婆心記
事亦徴衷。嗚呼海國要務在
知彼。預備嚴整恃有待。雖無
神風覆萬艦。復遺生還三人

耳。

嘉永己酉春三月題於澀上寓居。時絲管沸樓。遊塵漲空。生遇太平寔可樂也

楓江釣人

例言

一此編ノ記事之ヲ夷匪犯疆錄ニ原ヅク。然レ𪜈犯疆錄ノ一書。南北諸省ノ將士。奏議策論及ヒ戰鬪間目擊ノ記。得ルニ從ヒ雜集ノ編ヲ為スモノナリ。依テ年月時日ノ次序ニ至テハ。侵犯事畧ニ據リ。猶又謬誤アル者ハ。他書ニ就テ改正ス。陣化成ノ陣亡五月九日。誤テ同月十二日ノ條ニ記ルスカ如キ是ナリ

一犯疆錄ノ紀載道光二十年皇國天保十一年七月二日英夷定海縣ヲ攻陷スルノ事ニ始ル。依テ鴉片

煙流毒。及ヒ林則徐。廣東ニ於テ嚴酷ノ禁令ヲ設ケ終ニ庚人ノ侵犯ヲ招ク其濫觴ヲ知ルヘシ。今且ク經世文編。隱憂錄。乍浦集詠。清武記等ノ諸書ニ據テ變亂ノ緣由數件ヲ前ニ增載ス。脫誤或ハ少ナカラス識者ノ訂正ヲ俟ツ

一行文ノ体裁ハ咸哀記。太平記。總テ皇國古來軍籍中ノ套語ヲ用ユ。童蒙ノ士トイヘ共。一讀ノ記誦シ易カラシメンカ為ナリ

一英人ノ官爵姓名。共ニ漢譯ノ字面ヲ用ユ。「スコートペイナクト」官名ヲ水師提督。ホテンチヤ」人名

ヲ噴鈆査ト記スカ如シ
一礮臺ヲ臺場火槍ヲ劍付鉄砲ナド譯シ天砲ノ
如キハ直ニ漢譯ノ字面ヲ用ヒ猶又蠻語ヲ以
テボンメント傍訓ス彼是譯例ノ一定セザル
者ハ只ニ時人稱謂ノ便ニ從フノミ
一英人ノ戎裝及ヒ軍艦ノ圖ヲ掲ルモノハ彼國万
里外ニ在テ我ト重洋ヲ隔絶ス故ニ其人物ノ
形狀器械ノ製造ヲ知ル者少ナシ依テ和蘭船
載ノ圖ヲ摸寫メ以テ本篇ヲ讀ノ一證ニ備フ
ト云フ

鳥識

總目

卷之一
英吉利記畧
坤輿畧圖
清國沿海畧圖
英國將長戎裝圖
同步卒戎裝圖
同軍艦圖
同蒸氣船圖
烏咱煙流毒分黃爵兹上書事

卷之二

林則徐奉命掌廣東政務事

於虎門燒燬鴉片圖

暎國使節到廣東府事

楊靖江於穿山洋襲夷船事

英吉利王命義律發船軍事

參撲河發船圖

英夷陷定海縣城事并圖

袁兆魁探定海夷情事

出青田縣怪獸事并圖

卷之三

英將義律到天津江事
琦善於廣東私議和事
打蓮花港供應夷人圖
官軍到着廣東分燒討夷船事
粵秀山觀音靈驗事
道光帝逆鱗分琦善行罰科事
英兵攻廣東分參贊楊芳議和事
毀永福發大砲擊碎夷船圖
英夷並湖南官兵乱妨事

鄉勇與英夷戰鬪事 并圖

卷之四

賈人張鴻製虎尾陣事 并圖

噗鼻查嗎利遜再攻定海事

王錫朋血戰圖

掘出諸葛孔明所建碑石事

林朝聘諭大義退夷船事

鎮海生員王師真燒討夷船事 并圖

官軍退治定海夷人事

乍浦落城并夷人乱妨事 并圖

烈女劉氏事
卷之五
陳化成軍配丹討死事 并圖
鎮江府落城事
都統海齡妻投身火中事
欽差諸大臣奏和議事
兩軍和睦事并和約條目
同圖

目次終

英吉利國紀畧

イキリス（エウロッパ）ハ歐邏巴洲西方ノ海中ニ在ル一大島國ナリ漢人譯シテ英機黎咭唎諳厄利亞蘭厄利亞等ノ字面ヲ用ユ近來又省称ノ英國英夷ト云此島北方ノ地ヲ思可齊亞（スコシヤ）ト云フ古昔ヨリ獨立ノ主アッテ此ヲ領セリ然ルニ曆數一千七百零七年英國ノ女王盎那（アンナ）ノ世ニ當テ其地ヲ併有シ且又西方ニ在ル意而蘭（イールランド）土ノ一島ヲ得之ヲ總称ノ大蒲利丹尼（ブリタニヤ）亞ト云フ即チ地ヲ分ッテ五十二州トナシ是ニ六十二ノ諸侯ヲ封ス其南方ハ「カライス」ト云ヘル海峽ヲ隔テ和蘭佛狼西ノ兩國ト對

ス中間相距ル丁僅二十二三里便風ニ帆ヲ関ク寸ハ一日ニノ往還スベシ斯テ四沿ノ海岸巖石聳立暗礁海ニ逆リ風潮ノ險悪實ニ恐ルベキノ地ナリ依テ近隣ノ歐國トイヘ𪜈窺覦ノ念ヲ絶ス既ニ那波礼翁(ナポレオン)勃奈跋兒(ボナパルテ)的(佛狼西國ノ僞帝)ノ如キ天下ヲ席巻スルノ英傑トイヘ𪜈亦此ノ海險ヲ恐レ敢テ兵舩ヲ侵入スル丁ナシ古來其國王或ハ男或ハ女一定セズ當今ハ即チ女王ニノ名ヲ城咧ト称ス即位ノ後二年屬國ノ二王子ヲ請テ之ヲ夫壻トナス女王朝ニ臨ンテ政ヲ聽寸ハ二

王子モ亦其左右ニ侍坐セリ諸候朝勤スル時ハ女王ノ前ニ接近シ跪テ掌ヲ王ノ膝(ヒザ)下出ス時ニ王手指ヲ以テ親ク掌心ニ点ス諸候其手指ヲ嗅テ而ル後ニ退ク是英國ノ重禮ナリ都府ヲ蘭頓(ロンドン)ト云フ爹模河(テイムスカ)ノ上ニアリ家屋櫛比人民湊湊ス此河ニ跨テ大橋アリ長サ百八十丈幅四丈三處ニ燈臺ヲ設ケ夜間コレニ火ヲ点メ以テ行人ニ便ス又岸上ニ砲臺ヲ築キ外寇ニ備ヘ數處ニ互市場ヲ置キ土産ノ毛絨穀物錫鐵其他苧麻大麻茸ノ品ヲ以テ万國ノ商人ト貿易ス其商舶河口

ニ相集テ危檣林立水面陸ノ如シ府下ノ人口凡一百零五萬餘大學校ニ在ル所ノ生徒平常數萬ノ多キニ下ラズ土人女子ハ頗ル情慾深クメ貞烈ノ操無シ噸噸（ドンドン）ノ俗毎夜酒筵ヲ設テ歡樂ス婦女相爭テ其筵ニ預ルヿヲ希フト云男子ノ性極テ伶俐狡黠然レ𪜈事業遠大ヲ期シ大舶ヲ製メ万國ニ航海シ諸物ヲ交易メ巨萬ノ利ヲ計ル其商舶ノ數二萬八千八十艘舶上ニ使役スル所ノ者十八万五千人國王ノ手舩大砲四十挺ヨリメ百二十挺ヲ備フル者八百余艘舩上ノ徽号皆十

字ヲ畫ク赤青白ノ三色アリ就中赤色ヲ以テ貴重トス印度所領ニ備ル軍船一百二十四艘本國ヨリノ其地ニ留在ノ官吏凡四千人且又民兵ヲ撰フニハ七十ニノ一ヲ取リ十八ヨリノ四十五歳ニ至ル者ヲ限ル隊陣編束ノ法ハ三人ニ初ル之ヲ祿(ロット)多ト名ヅク祿(ロット)多十六ヲ合メ設幾(セッキ)丁(テン)ト云ヒ設幾丁ニ隊ヲ合ノ工巴倔尼(コンパクニー)云ヒ工巴倔尼四隊ヲ合メ扳臺龍(バタイロン)ト名ツケ扳臺龍ニ三隊ヲ合メ列細綿(レジメント)多ト云フ夫ヨリ細比丁(コンパニー)ヲ列以傑兒(イギリス)格尓布(グルカ)斯等ノ大隊陣アリ最各隊ノ中カ比丹(カピタン)ヲ漏底南(ロイテナント)多

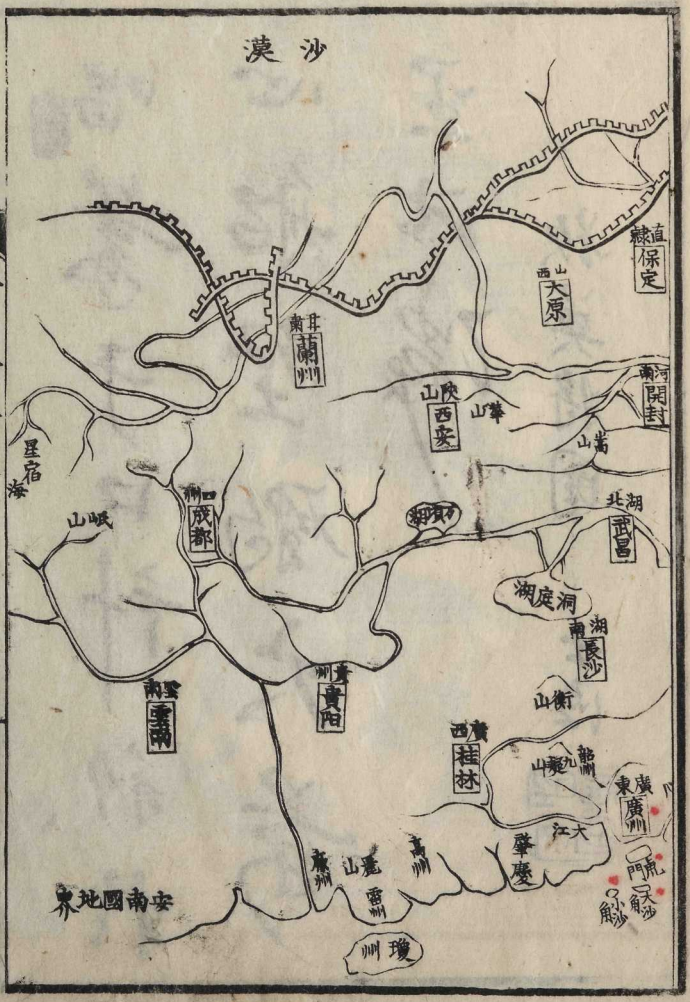
格魯涅(コロネル)熱涅剌尓(ジェネラル)等ノ官アツテ之ヲ指揮セリ其戎裝ノ如キハ近年火砲ノ技盛ニ行ハルニ依テ古昔ト大ニ一變シ務テ進退輕便ニ從フ故ニ鉄鎧金甲ヲ廢棄ノ之ヲ用ヒズ唯重騎兵ノミハ胸甲ヲ用ルナリ其火器大ナル者ハ迦碌忽碌(カノン ホーイツスル)一耳碌臼碌(オーツモルチール)アリ其小ナルモノハ重手銃(カラベイン)火搶(タツヲール)邊銃(ピストン)ノ諸器アリ且又火箭隊ヲ設テ敵ノ城營ヲ燒燬スルノ用ニ備フ兵勢ノ勇猛峻烈ナル丁西洋ノ諸夷其右ニ出ルモノナシ弱國アレバ直ニ之ヲ併有シ强國アレバ術ヲ以テ漸ク ニ之ヲ疲弊セシ

ム故ニ當今所屬ノ島地五大洲中ニ星羅(セイラ)延蔓(エンマン)セリ防海ニ志アルノ士西洋僻境ノ夷人ヲ以テ之ヲ蔑視(ベッシ)スルヿ無ルヿ可ナリ

坤輿略圖
凡有領地處皆以赤色表之
西
北亞墨利加
亞
大日本
朝鮮
南亞墨利加
伯西兒
白露
智利
新和蘭
南

英國ロンドンヨリ 亜蘭里加海ヲ経テ清國廣東ニ至里程凡二万二千里地中海ヲ過ヌレハロノ地ニ着船スヨリ陸行五十里ニ西紅海ニ出ヅ即チ此處ヨリ別船ヲ以テ廣東ニ渡ルヌ其海程尚ホ六千余里故ニ述ヌ年西洋費急ノ緊言ス可カラス此路依ル英夷所領ノ各地航海里程ノ数ハ丸キ余別ニ載ヲ今茲ニ除ク

清國界圖
府縣名傍ニ朱點ノ有ル者係夷人侵犯
寧古塔
盛京奉天
順天北
白山
朝鮮國
渤海
天津
東山
河南
泰山
兗州
五條溝
浦口
鎮江
揚州
江寧
安慶
江西
南昌
浙江
杭州
寧波
台州
福建
福州
興化
泉州
厦門
臺灣
新竹
鎮海
澎湖
香港
琉球
大琉球
臺灣


沙漠
直隸保定
山西大原
甘肅蘭州
河南開封
陝西安
華山
嵩山
星宿海
四川成都
湖北武昌
洞庭湖
湖南長沙
衡山
雲南雲南
貴州貴陽
廣西桂林
九嶷山
廣東廣州
大江
肇慶
廣州
高州
雷州
瓊州
虎門
大沙
小沙
安南國地界

唱 改
兼于口計利於
心船堅礮大兼
至此深

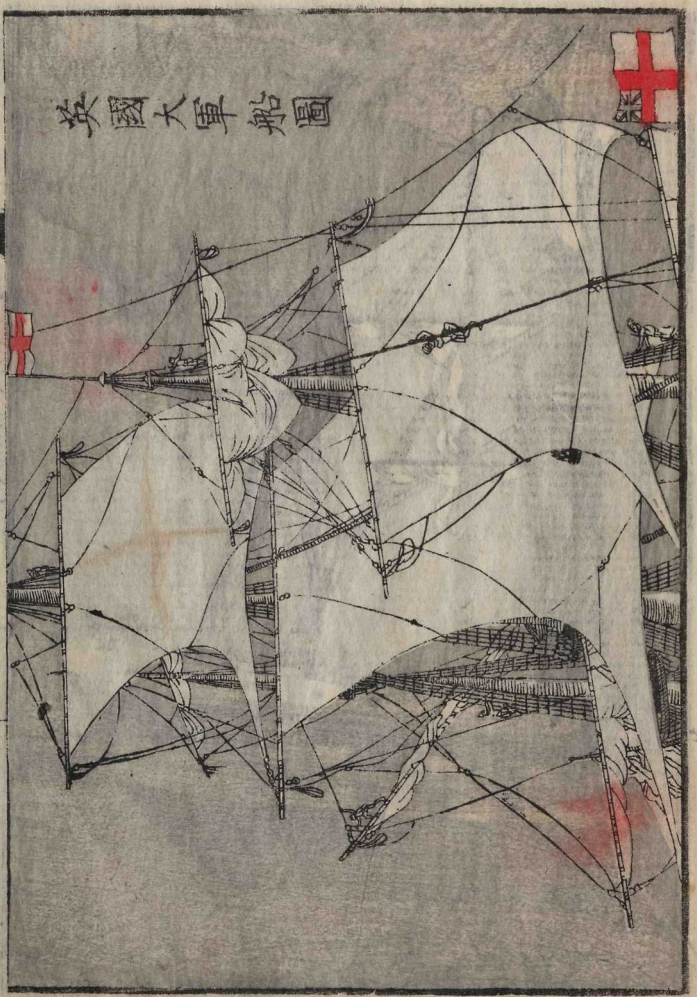
欽英將圖

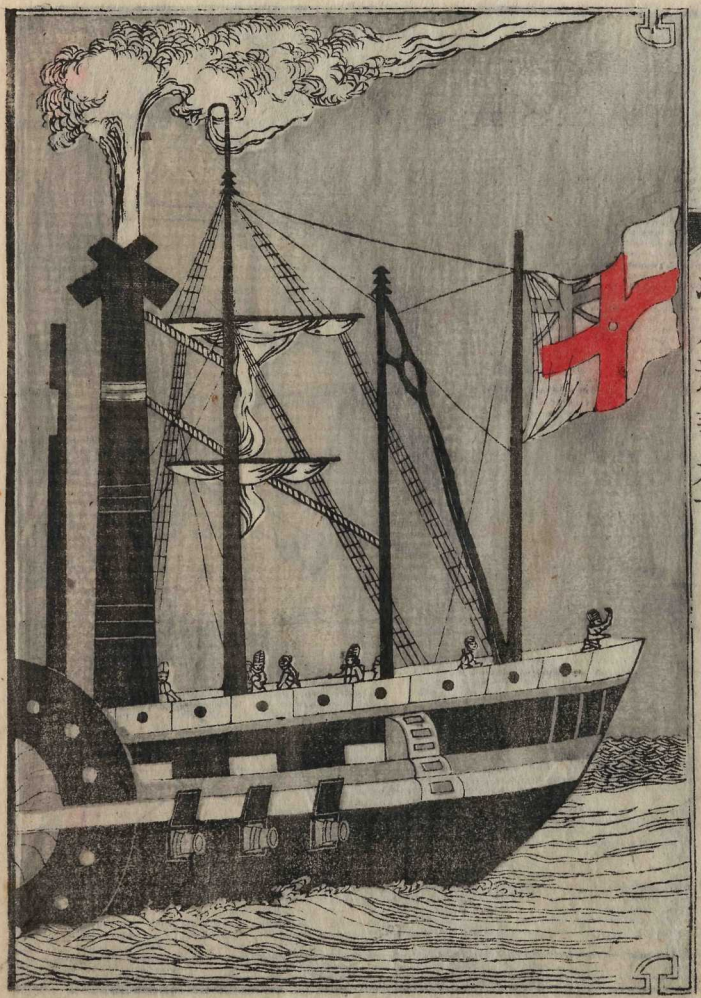
士治 堅甫

英將戎裝圖

步卒軍裝前面

同側面


第四大國旗



蒸氣船圖

海外新話巻之一

鴉片煙流毒并黄爵茲上書事

愛ゐ鴉片煙流毒の縁由を考るゐ今茲距事凡そ三百年前亜瞵比亜及び印度の地方より初めて中國ゐ渡来も其ゐ多ゐ粤省海濱の人民のみ是を喫吸ー猶未ゞ世ゐ行ゐ遍ねくーゞ此物至味の中ゐ至味ある故ゐて一度喫すること終身忘られぜ人頻ゐ悶鬱結するゐ當りくこれ故用ゐるこゝゐ其悶を消ー其鬱を散ー心気和暢あざらも微醺を帯ふる如ー故ゐ漸く盛ゐ流行ー上王公より下庶人ゐ至る

さで嗜好せざるいまゝ此ふ於て考商已が欲する所を
得て年々夥く廣東ふ持来り専ら漢土の金銀と
交易ー其理を得る事莫大なり元来鴉片の物さる
烟気人を害も常ふこれを嗜むこたい精神を耗ー
血液を損ー終ふ百疾を招き救薬もべうぢなふ
なる依て乾隆年間既ふ禁止の令を設け有る所ろ
鴉片一千函を焼且法律を犯その器を売む内地の商
民鴉片を販ぐ者あれば枷を着ること一月杖一百を加
へ三年の間遍疆ふ遣りて戍卒ふ充つ侍衛の官人と
ゝどもこれを犯すこたを甚職を革め枷二月こんもさ一

百の杖を要ふ或ハ千里の遠きを請ー或ハ奴とな
諸役ハ驅使を罷の軽重ハ従ひ各厳科ニ處せらる
ゝ此を恐れ一時鴉片を賣買する者ありゝ何時と
なく甚法弛て諸民又嗜まる旧の如ー嘉慶二年
再び鴉片三千余函を焼前律ニ周りこれを禁正せとい
ども其深習深くして除き難く殊ニ海邊の奸民逓ニ
仲合ニ船を出ー莫吉利船の来るを待て鴉片煙を請ひ
求め諸物と交易ー私ニこれを國中ニ販く國中の者も
亦これを買得て暗室無人の地ニ喫食せり如此なれば竟
ニ其根源を絶ニ能ハず今の帝道光七八年のころハ

嘗り英夷又禁止の令降らんと欲れ先廣東ゟ晉在
する所の諸官人ゟ多少の賄賂を送り已れ禁を犯んと
するの方便をなし公然として鴉片を持渡る諸役人等も又
往々賄賂ゟ心を奪われ敢てこれを制せず近年ゟ及んでい
交易多一の品此ゟ過ぐる物あり故ゟ持渡る所の數六千方
斤の多ゟ下らずとの人同十八年山東の黄爵滋なる者あり
鴉片の國家ゟ大害あるを深く憂ひこれを常ゟ奏ゟ近
年中國の金銀不足して人民疲弊する所以全く鴉片
煙の流行するゟ依来豪富の輩ゟ固有の財を散
じこれ以買求め貧窮の者とゟ雖ども嗜好の甚ゟふ

ような家財を典ー田畝を販き其金を以て鴉片烟ふ
換へ終ヨ已ゲ産業を喪ふ故ふ遊民無頼の悪徒日々
衆多めーて制ふぐらぢる ふ多る誠ヨ流弊如此めーく
とわ我今日ふ禁せぞんバ後必ず中國の財宇万里外
ま人の為ヨ奪ひ取られ殆ど尽るんとそ況や鴉片を
製るに金銀を製るとと其功労孰れ ら難く孰れ ら易
き焉んぞ難く且貴き物を以て易く且賤きものみ交
易まるの理あらんや一日禁せば且バ一日の害あり一月
禁ぜざれバ一月の患あり然れバ國家の一大事ふ先
ふ嘗りて速ふ禁断あるべきよー忠肝を吐露ーて奏ー

ゝれべ帝大いに甚奏を可とし給ひ即ち諸廷臣に命ト評議せしめ給ふに愈禁断の義然るべしと評議これ一決を遂ふ甚制を定め十人を一組と保と名づけ此を一組合とし若一人法を犯せば十人の者尽く罰を受く専ら鴉片を畜蔵するのみならず煙具を所持する者も罪死を免れず既に甚法を犯せる者ありて官吏これ見のがし問正さゞれば又官吏の職を奪ひ同く罪科に行ふ而後広東留在の英商に命じ今館内及び舶中に有所の鴉片烟数箱悉く持去るべし再び持渡ることあるべからざるの由